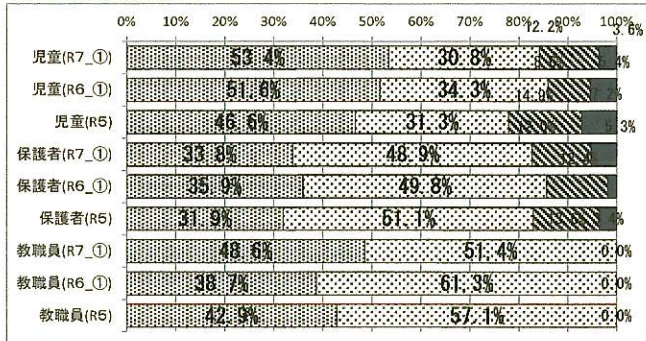
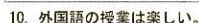
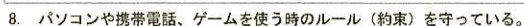
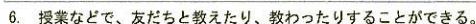
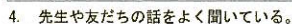
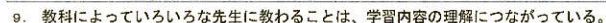
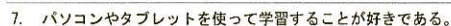
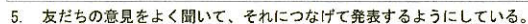
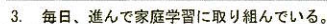
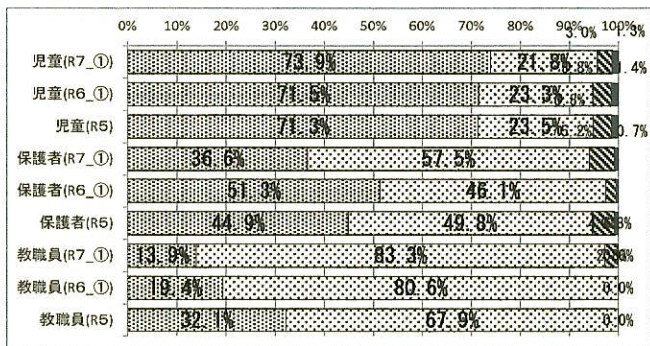
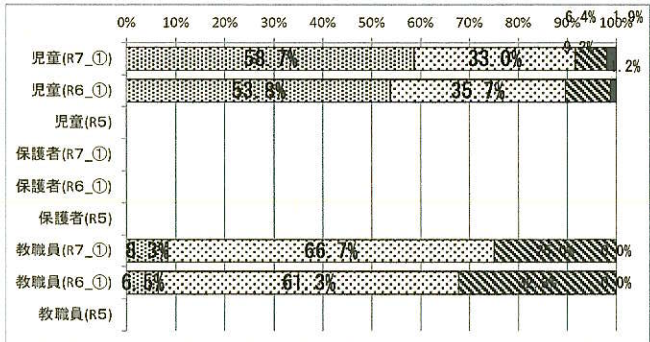




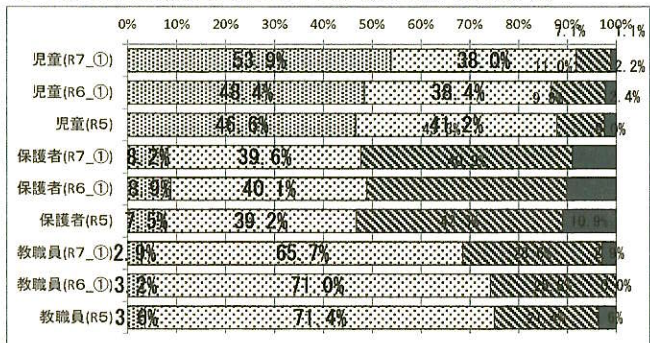
11. 友だちと仲良くできる。



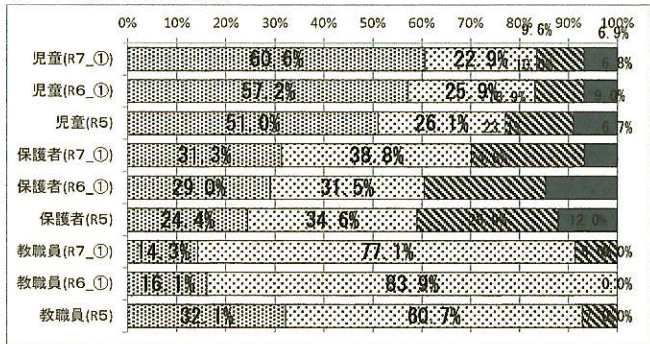
13. あいさつをしたら、しっかりと声を出して返している。



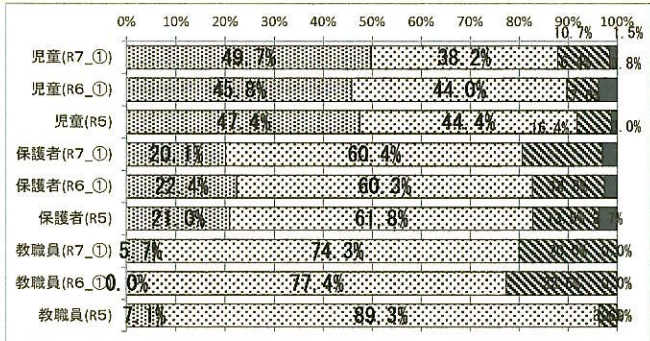
15. 身の回りの整理整頓をきちんと行い、学校や教室をきれいに使っている。



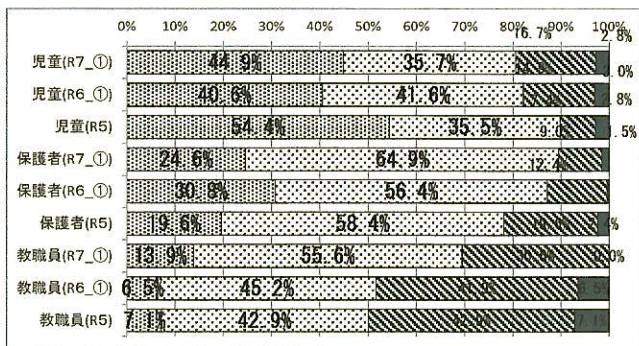
17. 本を読むのが好きである。



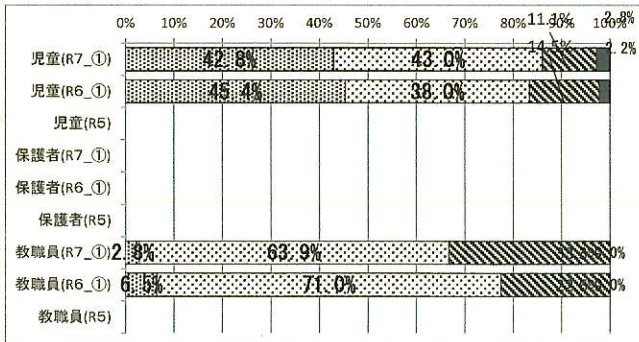
19. 時間やルールを守って、活動している。



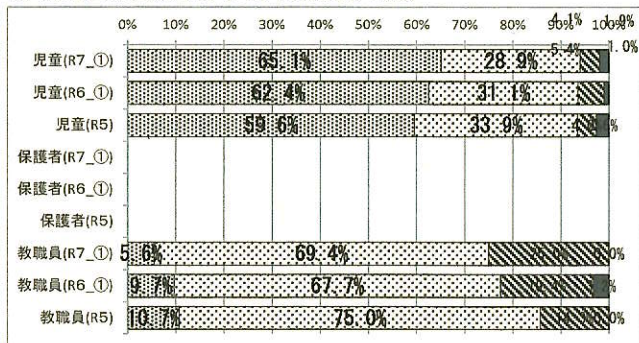
12. 大きな声であいさつや返事をしている。



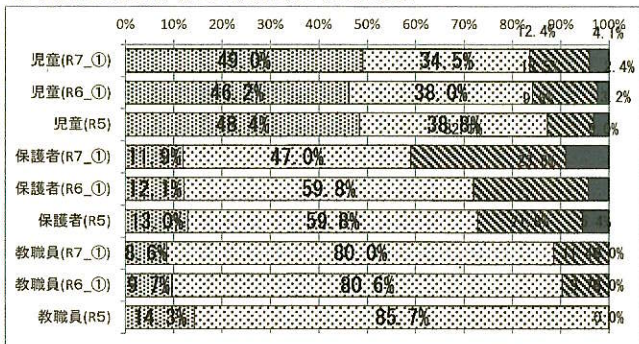
14. ていねいな言葉づかいを心がけている。



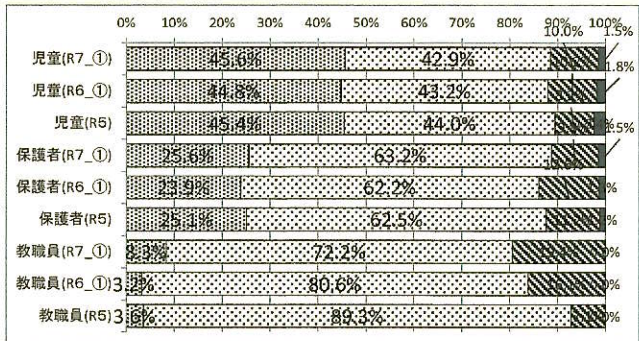
16. 学校をきれいにしようと、しっかりと掃除をしている。



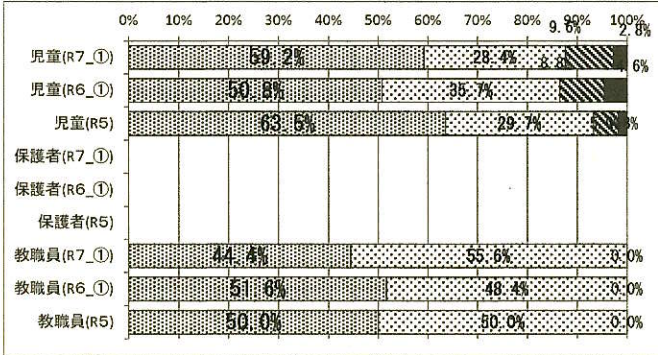
18. 道徳の授業を受け、新しい考え方に気づくことがある。



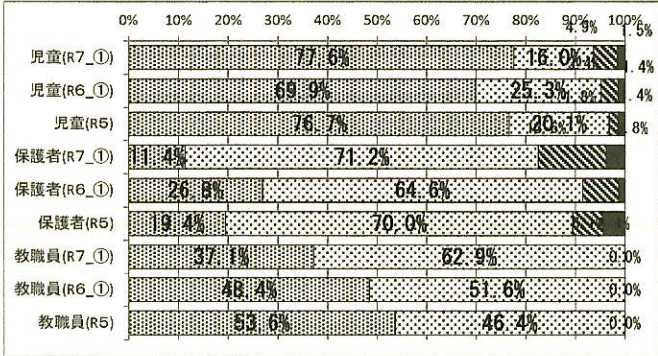
20. 相手の気持ちを考えた言葉かけや行動をするようにしている。



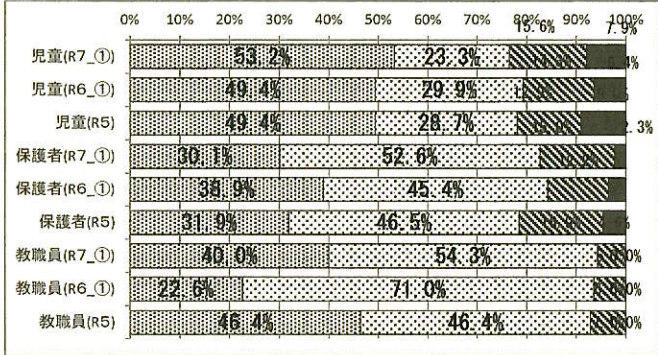
21. (1~3年生)上級生は親切にしてくれる。(4~6年生)下級生に親切にしている。



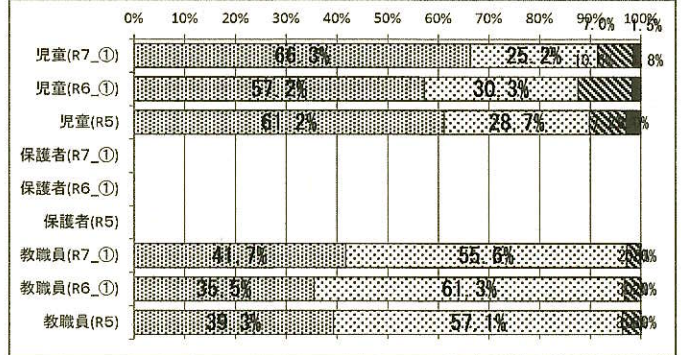
23. いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思っている。



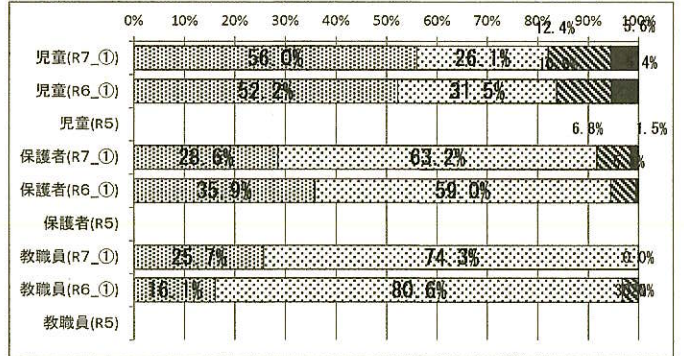
25. 絵を見たり、音楽を聴いたりして感動することがある。



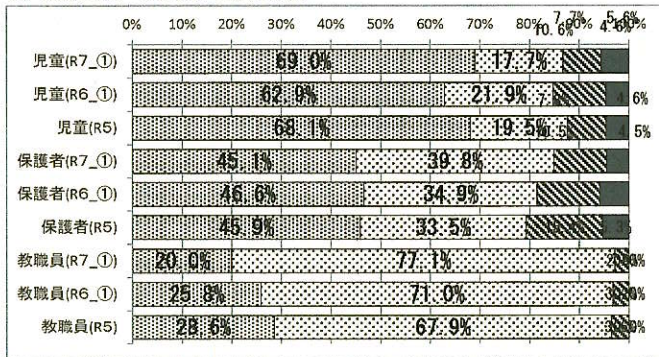
22. クラスや学年のみんなで何かをやり遂げて、うれしかったことがある。



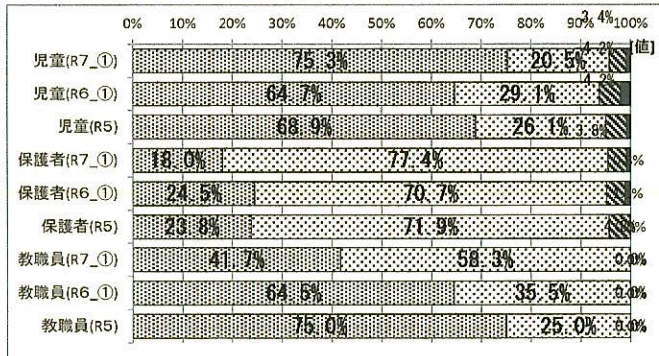
24. 悩みや不安を相談できる人がいる。



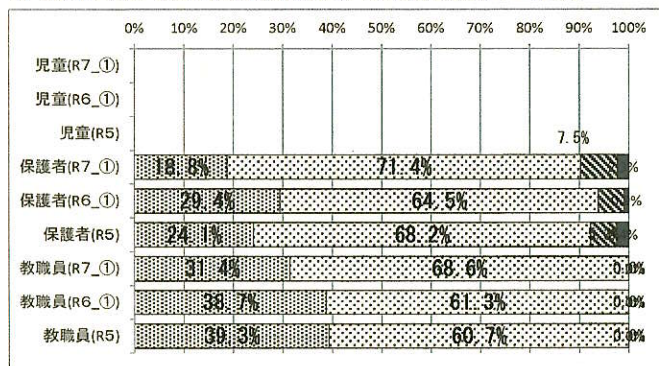
26. 運動やスポーツをすることが好きだ。



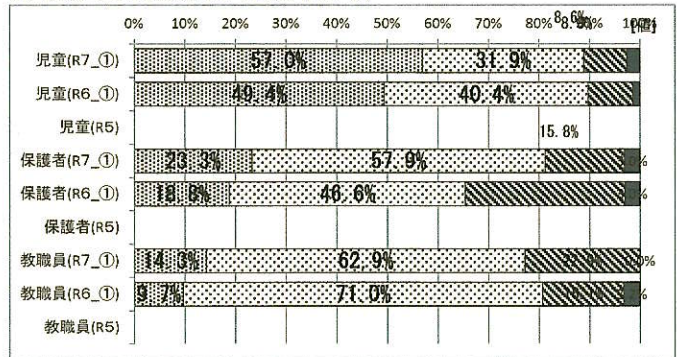
28. けがや事故がないよう安全に気をつけている。



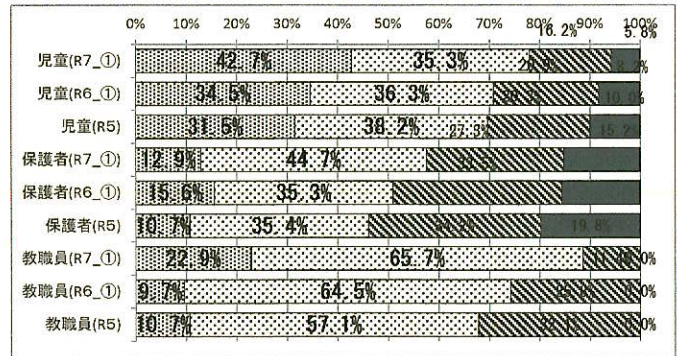
30. 高洲小学校は、保護者や地域の方に対して、情報提供を適切に行っている。



27. 難しいことにも挑戦するように心がけている。



29. 地域のボランティアや自治会の方など身近な人と進んで関わることができる。



「子どもをよりよく育てる」ためのアンケート（学校評価アンケート）の結果について

1 目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

2 実施日

児童 7/1（火）～7/10日（木）

保護者 7/1（火）～7/10日（木）

教職員 7/1（火）～7/16日（水）

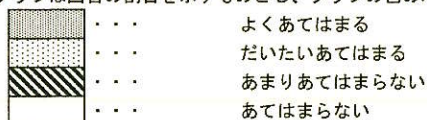
3 回収率

			<参考> R6①	R5
児童	469名/519名	90.3%	94.6%	89.8%
保護者	134名/519名（R7から児童ごとに回答を依頼）	25.8%	56.9%	64.9%

4 回答と結果について

- ・ 質問に対しての回答は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4択とし、児童は質問に対して、保護者は「お子さんは」もしくは「保護者は」と、教職員は「高洲小学校の児童は」「高洲小学校は」と主語を置き換えて回答する。

- ・ 別紙のグラフは回答の割合を示すものとし、グラフの色のパターンは以下のとおりである。



- ・ 「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的な回答、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的な回答として考察する。

5 結果と今後の取り組みについて

- (1) 学校教育目標「**学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成**」に関する質問項目について

- ・ R6に比べ、児童の肯定的な回答の割合が増えたのは、質問の1, 3, 4, 5, 8, 9である。
- ・ R6に比べ、児童の肯定的な回答の割合が3%以上減ったのは、質問の6である。
- ・ 質問1, 2において、児童、保護者ともに肯定的な回答が9割を上回っている。
- ・ 質問4については、児童の9割以上が肯定的な回答であるのに対し、教職員は6割弱の肯定的回答にとどまっており、差が見られる。
- ・ 質問5については、児童の肯定的な回答が、年々上がっている。これは、教職員の「つなげる発表を意識している」ことの成果と考えられる。
- ・ 質問7, 9, 10については、児童の肯定的な回答が高い水準を維持している。
- ・ 質問8については、児童と保護者の意識に少し差が見られる。

→ 概ね、昨年度と同様の結果であることから、引き続き、学び合い、高め合う学習の充実を図っていきます。

今後も友だちの意見を聞いて、それを踏まえて自分の意見や考えを発表できるよう継続して取り組みます。

「聞く力」について、具体的にどういう力をつけたいか、どうなったら力がついていると言えるのか、児童に示しながら進めていきます。

- (2) 学校教育目標「**学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成**」に関する質問項目について

- ・ R6に比べ、児童の肯定的な回答の割合が増えたのは、質問11, 13, 14, 15, 16, 17である。
- ・ R6に比べ、児童の肯定的な回答の割合が3%以上減ったのは、ない。
- ・ 質問11, 14, 15については、高い水準を維持している。
- ・ 質問12において、肯定的評価が児童は減少しているが、教職員は増加している。「大きな声」とわかりやすくしたことで、差が縮まっていると考えられる。
- ・ 質問15においては、児童と保護者、質問13, 14, 16においては児童と教職員の肯定的評価の割合に差が見られる。
「しっかりと」「ていねいな」「きちんと」「きれいに」などの言葉の捉えに差がある可能性がある。
- ・ 質問17においては、児童、保護者ともに年々肯定的評価が増加している。

→ 引き続き、心豊かな児童の育成を目指し、道徳教育や特別活動の充実を図っていきます。

いじめアンケートやにじいろルームでの相談、子どものつぶやきなどから「いじめ」に関しての情報をしっかりと

キャッチし、保護者とも連携を取りながら、より一層、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めていきます。

引き続き、「豊かでていねいな言葉」と「あいさつ」でコミュニケーション力を高め、言葉を通して互いの思いや考えを共有（尊重）できる児童を育成していきます。

- (3) 学校教育目標「**学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成**」に関する質問項目について

- ・ 質問26では、児童・保護者・教職員ともに肯定的評価が8割以上の高水準を維持している。
- ・ 質問27では、昨年度より保護者の肯定的な評価が大幅に増加した。「しなやかな」児童の育成について、保護者の協力のもとうまく進んでいると考えることができる。
- ・ 質問28では、児童・保護者・教職員ともに、95%以上の肯定的な回答を得た。児童も教職員も安全に気を付けており、それを保護者も評価していることがわかる。
- ・ 質問29では、児童・保護者・教職員ともに、3年間で肯定的評価の割合に上昇がみられる。着実に地域とのつながりができていると考えることができる。

→ 体育の時間の充実と日常の運動の奨励を継続し、運動に親しみながら体力の向上を図っていきます。

学校・保護者・地域で連携して、難しいことにも挑戦できる場を設定していきます。

これまで同様に、地域との連携、高洲中学校区の園小中連携の取り組みを推進し、高洲地区とのつながりの心を培います。